

金毘羅山・翠黛山

(573m) (577m)

実施日：03月10日(日)

天候：晴れ

参加者：12名 川添、川鍋、小山、園田、田中、塚本、中原、檜崎、細田、前田(信)、牧野、園田

行程：「戸寺」バス停 9:56→10:20 江文神社 10:25→10:46 一つ目の尾根(No.4) 10:50→10:59
琴平新宮社 11:03→11:14 尾根 11:19→11:42 金毘羅山 12:20→12:34 翠黛山への分岐
→12:58 鞍部 13:01→13:09 翠黛山 13:16→13:38 小休止 13:46→14:25 橋を渡る→
14:28 寂光院 14:35→14:50 「大原」バス停

京都駅発のバスに11名が乗り「戸寺」へ。ここで一足先に国際会館からのバス出来た前田さんと合流し、全員集合。バス停前のお店で買い物をし、トイレを借りて出発。9年前は江文峠から上ったが、今回は江文神社から上る。踏み跡を半時間ほど上り、江文峠からのルートに合流し、間もなく琴平新宮社に到着。暖冬で雪はないと思ってたが、残雪が目立つようになる。

小休止の後、更に上ると間もなく主尾根に到着。残雪多し。左の金毘羅山に向かう。雪道を上り、最初のピークが三壺大神で、ここに神代文字(注1)の石碑があり、ここからは京都市内を見ることが出来るが、先客2人がお弁当のため、古代文字の石柱の写真を撮り、先に進む。三壺大神から一旦下り、鞍部から上り返し金毘羅山に到着。お昼前でもあり、ここでお弁当にする。

食後、三壺大神を越え、翠黛山への分岐点までもどる。翠黛山へ向かうルートを辿る。木立の中を進み、大きな鞍部で小休止を取り、上り返すと、翠黛山山頂に到着。山頂から寂光院目指しどんどん下る。途中小休止を取り、更に下り、橋を渡り細い車道を右に。間もなく寂光院前に。トイレなど利用させてもらい、「大原」のバス停に到着。タイミングよくJR京都駅行のバスに11名が乗り込む。1人は、この後の国際会館行のバスに。

(注1) 神代文字の一種である、阿比留文字(あひるもじ)で「アメノミナカヌシオオカミ」と書かれているようだ。誰が何のために建てたのかは不明、とのこと。

走行距離 6Km 累積上り 593m 累積下り 593m



1, 戸寺バス停に集合



2, 江文神社に向かう



3, 江文神社に



4, 江文神社を後に、メインルートに向かう



5, 一つ目の支尾根を目指す



6, 支尾根で一休み



7, 琴平新宮社に向かう



8, 琴平新宮社への急登



9, 琴平新宮社に到着



10, 琴平新宮社を後に、主尾根を目指して上る



11、主尾根に到着、ひと休み



12、尾根を金毘羅山へ



13, 翠黛山分岐点を経て、三壺大神の東峰にある、神代文字の一種である、阿比留文字（あひるもじ）



14, 金毘羅山（西峰）山頂でお弁当



15, 金毘羅山山頂で全員



16, 翠黛山分岐点に戻る



17, 分岐点から翠黛山に向かう



18, ダウンアップしながら



19, 翠黛山へ



20, 翠黛山はもうそこ



21, 翠黛山山頂で全員



22, 翠黛山からの急な下り



23, なかなかハードな下り



24, 注意しながらなお下る



25, 上り返しもあり



26, 獣除けのフェンスを抜けて、寂光院はそこ